

南ブロック委員会・会議録

22.3.11 報告者 上田 充子

日時 22.3.11 18時30分～20時

場所 京都ハートピア 4階 大会議室

参加者 堀井・猪師・林田・宮下・橋本・中藤・沼田・大藪・並河・田室
理事（小林・佐藤・上田）

1. 21年度振り返り

- ・ 近畿大会に集約された1年であったと言える。大成功でよかった。
南ブロックの研修も内容が良かった。昨年は広報紙も検討され、充実していた。（並河）
- ・ はじめての経験ばかりであったが、南ブロック委員会は居心地よかった。研修企画はこんな風にされるのか、と学んだ。（中藤）
- ・ 南ブロックのメンバーが良く、ブロックの集まりが楽しみであった。
和尚の心意気の研修は良かった。研修が重なっていたので、参加者が少なく心配したが、結果的には良かった。自分自身も参加できて、よかった。（田室）
- ・ 自分自身の勉強にとっても役立った。西京区からの参加者が少なかったなので、声かけをもっと地道にしていきたい。（宮下）
- ・ 慣れないまま、ご迷惑をおかけしたのではないか。自分としては関わったことで主催される側がどんな苦労があるのか理解でき学びがあった。（沼田）
- ・ ケアマネジャーと言う職種を理解してもらえるようにもっと取りくみが居ると感じている。
医療区分から認知症が抜けている。今後、介護現場にとって大きな問題である。
研修では自分が経験したことを職場に持ち帰り、伝達してきた。和尚の心意気・・・の研修は参加者は少なかったが、逆に少人数で学びが多かった。（大藪）
- ・ 初めてブロック委員になって何をしたいのかわからなかった。
参加による学びが大きくあり、この1年に本当に感謝している。
研修は同じ事業所に持ち帰り、内部研修をしている。（橋本）
- ・ 東山区は小さな地域なので、研修が他区との情報交換の場所にもなり、よかった。
溪村先生の研修は他の研修と重なって人数が少なかったが内容は良かった。
グループ分けは同じグループに同じ行政区や事業所が重ならないような配慮が必要であった。（林田）
- ・ タイムリーな研修ができた。研修によって気持ちの切り替えができてよかった。
近畿大会は楽しかったし、同じ南ブロックのメンバーの顔を見て安心できた。
南ブロック委員の仲間で良い関係が築けてよかった。（猪師）

- ・ 研修に参加したり、ブロック委員として頑張っている人はすごいと思う。自己研鑽をされている人との格差が広がっていると感じる。大変な仕事だが、頑張っ欲しい。(堀井)
- ・ 介護保険が始まって10年・ケアマネの質を担保しながらも・・・格差が出ているのを肌で感じている。医療と介護の連携は国の方針であり、今後の連携については両面を見てゆく必要があると感じている。 病院側は介護保険に、ケアマネは医療情報に疎いところがあり、この格差が2年後、さらに開くと思われる。そのことが利用者に迷惑をかけることになるのではないかと危惧する。ブロック委員が果たす役割は大きい。(小林理事)
- ・ 何もわからないままに引き受けて、一つ一つを学んできた。近畿大会でも、何をどう動いたらいいのかもわからなかった。皆さんのおかげでここまでこれた。
就職フェアに介護支援専門員会からブース担当で行かして頂いたが、福祉の分野でも介護支援専門員の仕事の認識度が低いと感じた。介護支援専門員が何をする専門職かを知らない学生や一般の人がいて驚いた。もっと職能団体として知名度を上げる役割をしたい。
- ・ 南ブロック委員の方々の力を結集して頂き、お陰様で近畿大会も無事に終了できた。
お互いを信頼して安心して協力できた事は誇らしく、素晴らしかった。
今後も南ブロックとして独自性も提案して頂ければと思う。
南ブロック担当理事は佐藤理事に移行されたが、陰ながらお役に立ちたい。(上田)

2. 22年度研修計画について

※『 医療と福祉との連携 』をテーマにシリーズ化する。

- ・ 第1回 22年6月12日 土曜日 社会福祉会館 予定
講師 小林 理事
表題 等は未定 次回4月22日木曜日 南ブロック会議にて決定
- ・ 第2回 22年10月16日 土曜日 京都テルサ 東BC会議室 予定
- ・ 第3回 23年 1月23日 土曜日 京都テルサ 東BC会議室 予定

3. 広報紙について

- ・ 引き続き、大藪さんに依頼する。自己紹介等引き続き、続編を出して行く予定。
ホームページにアップさせてもらうが、今のやり方を変えずに行くという結論。
研修開催時期に合わせて作成し、案内と同時に出す予定とする。

4. その他

次回 南ブロック会議予定

日時 4月22日 木曜日 18時30分～20時

場所 京都ハートピア 4階 大会議室